

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Gripキッズ両国緑校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 11日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78名	(回答者数) 40名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 11日		～ 2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの充実	一度やったプログラムでは年々ステップアップしていくように、また初めての参加でも周りについていきたい気持ちもあるが、本人と相談いきなりではなくスモールステップで活動を行い達成感等を尊重しながら活動を行っている。	パターン化しないように職員も日々情報に対しアンテナを張り支援に取り入れていく。また子供達からの声も尊重しそれを取り入れ子供主体で動いてもらう事により成長を促すようにする。
2	職員への話しやすさ(相談しやすい)	基本的なことだが相手の目や顔を見て挨拶する事や子供達にとってもお手本となっているか常に確認振り返りをしながら行動するように心がけるように伝えている。また相手が何を伝えたいのかななどを常に意識し引き出せるように心がけている。	引き続き職員間で心がけについて共有、意識しながら行動することや、現在ではline等を使って相談に乗ることもあるのなるべくお返事のレスポンススピードを上げるように心がける。
3	個別支援計画に沿った支援内容	日々のケース記録票に個別支援計画が記載されていることにより本で行った支援内容とあっているかこちらも振り返りをしながら記入でき、記載する人皆で個別支援計画の共有ができること。また記入内容の質の向上により次回の個別支援計画書も向上につながる。	勤務時間の兼ね合いになるがケース記録だけでなくその日の担当職員全員(社員・アルバイト)で支援内容について細かく振り返りや意見交換をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングの実施	知識不足、日々の療育時間外での機会を中々設けることができていない。	まずは外部の研修等近くであればご利用されている皆様に告知したりそこにこちらの職員も一緒に参加することで知見を深めていく。
2	教室内の広さについて	規定の広さは確保しているが個別プログラムにて学習を取り組んでいることから、個別ブースや長机が規定人数分あるためどうしても狭く感じられてしまう。また児童自身が見通しを立てやすくするために設置してある移動式のホワイトボードもせまさを感じさせてしまう要因か。	移動式のホワイトボードや長机などは使わないタイミングもあるのでは。また時間をずらすことにより中高生の遠方の方も近くまで来ていただければそこからの送迎も可能になり通所しやすくなるのでは。受験については家庭の方針なので決まったタイミングで今後の方針など面談を随時行っていく。
3	小中高一貫だが中高生の利用に繋がりにくい	地域柄や近年重なってしまったのかは不明だが進学タイミングにて受検され塾の利用頻度が高くなるため方がいたり、少し離れた学校に通うことになるなどで通所が難しくなってしまう方が多い。また中高生になると療育時間の兼ね合いにより送迎が難しいことから自主登所をお願いしているため利用しづらくなっているのか。	遠方から来られる方は療育時間をずらしたりして対応するなど、そうすることで部活動をやって来られるようになるのでは。また時間をずらすことにより中高生の遠方の方も近くまで来ていただければそこからの送迎も可能になり通所しやすくなるのでは。受験については家庭の方針なので決まったタイミングで今後の方針など面談を随時行っていく。